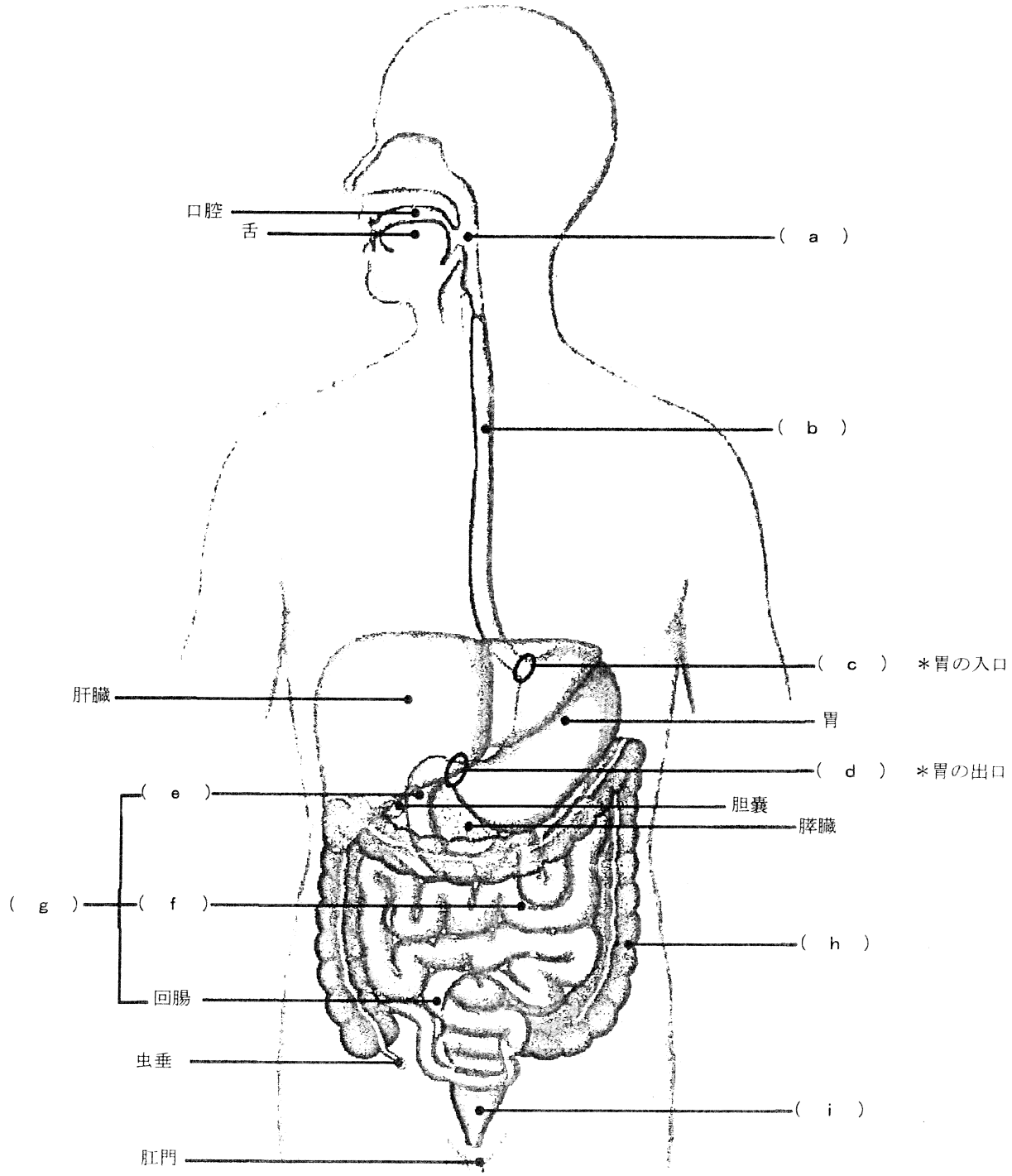
試験問題　令和６(2024)年度

養　護　教　諭　（６ページのうちの１）

受験番号	

（注）答えは解答用紙の定められた解答欄に記入すること。

1　次の図は、消化器系の模式図である。図中の（　a　）から（　i　）の名称を答えよ。　〈各１点〉



養　護　教　諭　（6ページのうちの2）

2　次の文章は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成 27 年度改訂」（日本学校保健会）に示されている健康診断時に注意すべき疾病及び異常のうち歯科口腔外科関連について述べたものである。（　①　）から（　⑬　）に当てはまる語句を下のアからネのうちから選び、記号で答えよ。　〈各１点〉

【むし歯（未処置歯：C）】

むし歯の原因である（　①　）菌は、口腔に食物として摂取された（　②　）を利用して多糖を合成する。この多糖は粘着性が強く他の細菌を付着させ細菌の塊（バイオフィルム）を形成する。この細菌の塊を歯垢または（　③　）と呼ぶ。この細菌が酸を作り、歯を脱灰させ最終的には実質欠損がみられるようになる。実質欠損のある状態がむし歯（未処置歯：C）である。歯垢内の酸性度（ｐH）が（　④　）以下になると（　⑤　）質の脱灰が始まる。しかし、唾液や歯垢中のタンパク質などの力で歯垢のｐHが元に戻ってくると（　⑥　）が起こる。歯面上では絶えず、脱灰と（⑥）が繰り返し行われている。このバランスが崩れ脱灰が進むと実質欠損のあるむし歯となる。むし歯の発生しやすい時期は、（　⑦　）から約（　⑧　）年である。口腔内の状態に応じた（　⑨　）指導、食事・間食指導、フッ化物洗口・フッ化物塗布・フッ化物配合歯磨剤の選択に関する学習など、生涯を通じた歯・口腔の健康づくりのために学校での健康教育、保健指導が重要である。

【歯周病】

歯周病とは、歯の周りの組織である歯肉、セメント質、歯槽骨及び歯根膜（歯根と歯槽骨を結んでいる組織）に病変が起こる疾病の総称で、歯肉の炎症である歯肉炎から始まる。歯周病は、有病率の増加と発病時期が（　⑩　）化している。初期の歯肉炎（ＧＯ）では歯と歯の間、歯の縁の歯肉が軽度に腫れて赤くなり、色が赤みを帯びて、ぶよぶよした感じになる。原因とされる歯垢の沈着が認められ、ひどい場合には（　⑪　）が認められることもある。

－　中　略　－

歯周病は、細菌、宿主及び生活習慣の要因が関係して発生する。近年、宿主要因として（　⑫　）、肥満など全身的な疾病との関係が指摘されている。歯の形態、歯列不正、（　⑬　）なども局所的リスクファクターである。

ア　睡眠	イ　8.5	ウ　ショ糖	エ　10～15	オ　2～3
カ　5.5	キ　ブラッシング	ク　高年齢	ケ　低年齢	コ　サルモネラ
サ　ミュータンス	シ　生える直前	ス　食物繊維	セ　再石灰化	ソ　出血
タ　咬合異常	チ　脊柱側わん症	ツ　脂質	テ　プラーク	ト　糖尿病
ナ　身長	ニ　エナメル	ヌ　象牙	ネ　生えた直後	

3　次の図は、中学校２年女子生徒の歯・口腔の健康診断票である。歯科検診の結果からこの生徒に対してどのような個別指導をすべきか。①むし歯に関する保健指導、②歯周病に関する保健指導について、根拠を明確にしながら具体的に答えよ。　〈各３点〉

児童生徒健康診断票（歯・口腔）

小・中学校用

氏名	栃木　花子	性別	男	(女)	生年月日○○○○年　○月　○日

年齢	年度	顎関節	歯列・咬合	歯垢の状態	歯肉の状態	歯式	乳歯 現在歯数	乳歯 未処置歯数	乳歯 処置歯数	永久歯 現在歯数	永久歯 未処置歯数	永久歯 処置歯数	永久歯 喪失歯数	その他の疾病及び異常	学校歯科医 所見	学校歯科医 月日	事後措置
○○歳	令和○年度	①2	①2	①2	①2	8 7 C 6 CO 5 O 4 3 2 1 / 1 2 3 4 5 6 7 8 上下 右 E D C B A / A B C D E 左 上下 E D C B A / A B C D E 8 7 C 6 CO 6 4 3 2 1 / 1 2 3 4 5 6 7 8	0	0	0	28	2	1	0			月日	

・現在歯　・う歯（未処置歯 C、処置歯 O）　・喪失歯（永久歯）△　・要注意乳歯 ×　・要観察歯 CO　（例 A, B）

4　次の文章は、「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応　平成 21 年3月」（文部科学省）に示されている健康観察の機会について述べたものである。（　①　）から（　⑦　）に当てはまる語句を下のアからツのうちから選び、記号で答えよ。〈各1点〉

学校における健康観察は、（　①　）や養護教諭が中心となり、教職員との（　②　）の下で実施すべきものであることから、全教職員が（　③　）の認識をもつことが重要である。中央教育審議会答申でも述べられているように、（①）等により（　④　）行われる健康観察は、特に重要である。また、（　⑤　）における（　⑥　）が行う健康観察も、子どもの心身の状況を把握する上で重要な参考となることから、（⑥）の理解と協力を得るとともに、（⑥）にも、子どもの健康観察の（　⑦　）等について周知を図っておくことが重要である。

ア　災害時	イ　義務	ウ　毎朝	エ　保護者	オ　学級担任
カ　学校医	キ　共通	ク　健康相談	ケ　視点	コ　特別支援教育
サ　毎月	シ　連携	ス　家庭	セ　児童生徒	ソ　地域
タ　管理職	チ　保健主事	ツ　費用		

5　「学校環境衛生管理マニュアル　『学校環境衛生基準』の理論と実践　平成 30 年度改訂版」（文部科学省）に示されている環境衛生基準を参考にして、次の1、2、3の問いに答えよ。

1　室内空気中の揮発性有機化合物の臨時検査を行うのはどのようなときか、二つ答えよ。〈各2点〉

2　揮発性有機化合物が基準値を超えた場合の事後措置について、二つ答えよ。〈各2点〉

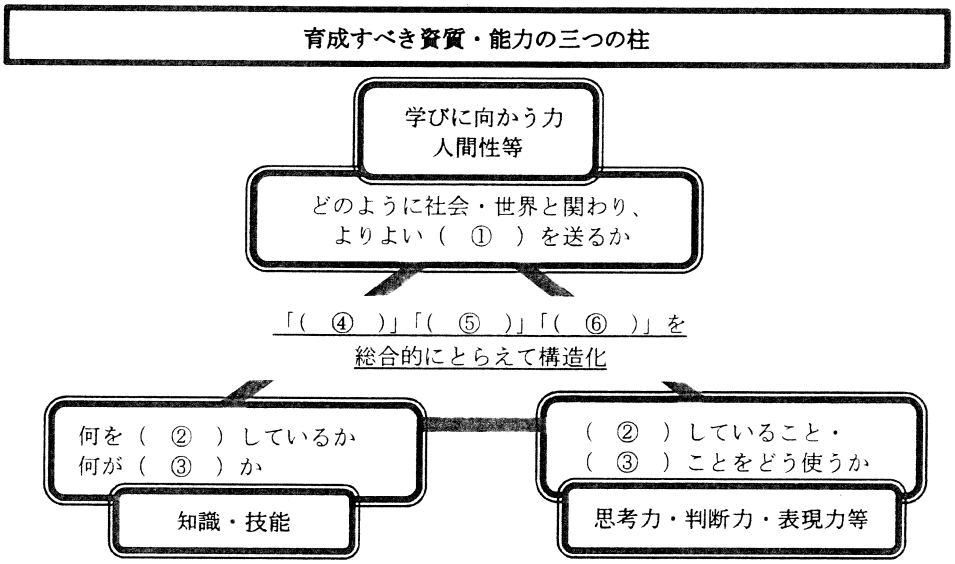
3　コンピュータを使用する教室等の照度及びコンピュータ画面の照度について（　①　）から（　⑤　）に当てはまる数値または語句を答えよ。〈各2点〉

コンピュータ教室及びコンピュータを使用する教室等においては、机上の照度は（　①　）～（　②　）ルクス程度が望ましい。また、コンピュータを使用する場合、背後からの光はコンピュータの画面に映り込むので、画面上の反射や影が少なくなるように留意する必要がある。なお、本基準でいうコンピュータには、デスクトップ型パソコンのほか、ノート型パソコンやタブレット端末等を含む。

テレビやコンピュータ等の画面の垂直面照度は、（　③　）～（　④　）ルクス程度が望ましいとされている。また、目の（　⑤　）の原因にならないようにするため、画面に強い光が当たらないようにするとともに、周囲の明るさ（壁面照度）を確保することが大切である。

6　「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引き　平成31年3月」（文部科学省）、「改訂『生きる力』を育む中学校保健教育の手引き　令和2年3月」（文部科学省）、「改訂『生きる力』を育む高等学校保健教育の手引き　令和3年3月」（文部科学省）に示されている保健教育に関する内容について、次の1、2、3の問いに答えよ。

1　育成すべき資質・能力の三つの柱について、次の（　①　）から（　⑥　）に当てはまる語句を下のアからセのうちから選び、記号で答えよ。　〈各1点〉

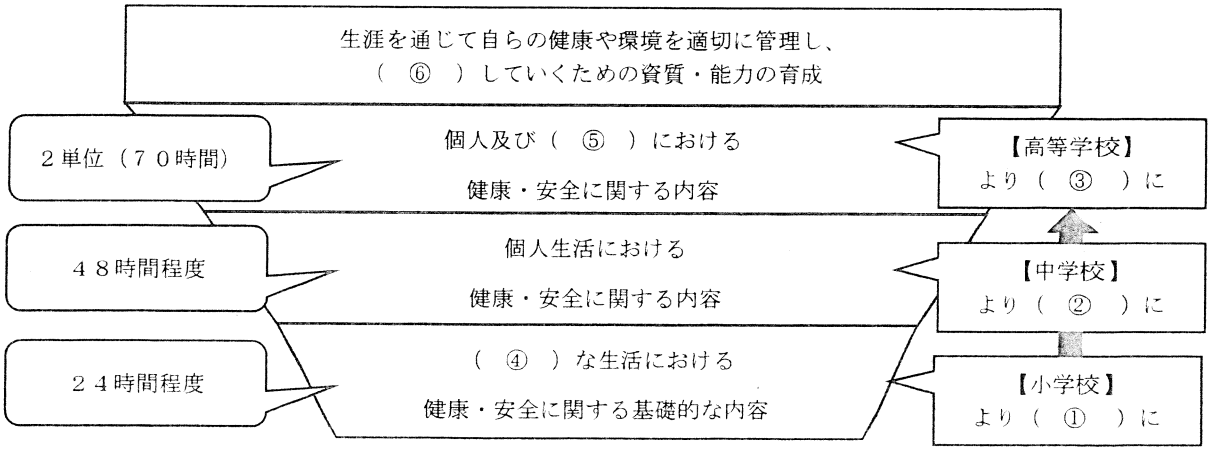


ア　学校生活	イ　問題視	ウ　人生	エ　確かな学力	オ　できる
カ　経験	キ　健やかな体	ク　想像	ケ　理解	コ　豊かな心
サ　強い	シ　レジリエンス	ス　専門的知識	セ　はたらく	

2　近年、社会全体での積極的な対策の取組とともに、学校での着実な保健教育が大きく寄与し、減少傾向を示している健康課題が2点示されている。それは何か、下の①、②を答えよ。　〈各2点〉

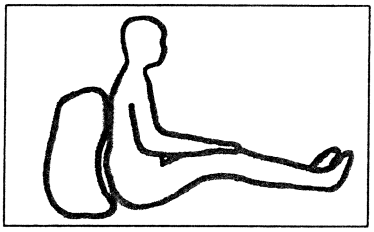
（1）子どもの（　①　）率
（2）成人の（　②　）率

3　次の図は、小学校体育科保健領域、中学校保健体育科保健分野、高等学校保健体育科「科目保健」の学習についての体系イメージ図である。（　①　）から（　⑥　）に当てはまる語句を答えよ。　〈各1点〉

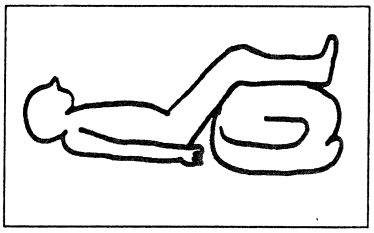


7　次の図は、救急処置の際に傷病者にとらせる体位を示したものである。1から4の体位は、下のアからエのどの状況のときに最も有効か、一つずつ選び、記号で答えよ。また、その理由を答えよ。〈各3点〉

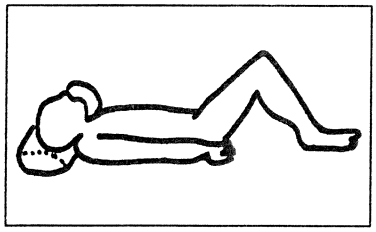
1　（半座位・起座位・端座位）



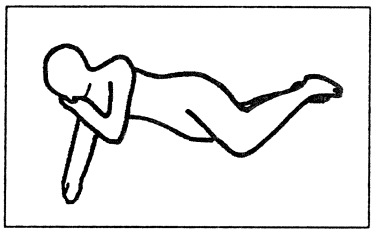
2　（足側高位）



3　（膝立体位）



4　（回復体位）



ア　プールでおぼれて、呼吸は戻ったが意識が戻らないとき
イ　過呼吸を頻繁に起こす生徒が、呼吸苦を訴えているとき
ウ　腹痛を訴え、虫垂炎の疑いがあるとき
エ　顔色が悪く、脳貧血状態が疑われるとき

8　次の表は、主な性感染症についてまとめたものである。（　①　）から（　⑦　）に当てはまる語句を下のアからセのうちから選び、記号で答えよ。〈各1点〉

疾病名	潜伏期間	症状
（　①　）	2～4週間後に初期症状 その後、無症状期が数年～十数年	初期にかぜのような症状が見られることがある。自覚症状のないまま徐々に免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気である（　⑥　）などを発症する。
（　②　）	2～21日	非常に感染力が強い。性器に痛みを伴う水疱ができ、潰瘍になるものもある。一度かかると繰り返し再発することがある。
（　③　）	1～6か月	性器やその周辺に鶏冠状のいぼができる。いぼは症状を伴わないことが多いが、ときおり焼けるような痛みやかゆみ、不快感が出る場合もある。
（　④　）	3～4週間	初期に小さな赤い痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節腫脹、さらには、数年～十数年後に血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがある。
（　⑤　）	1～3週間	男性では排尿痛、尿道不快感、尿道からの分泌物、女性ではおりものの変化や下腹部痛などが主症状だが（　⑦　）である場合も多い。
淋菌感染症	2～9日	

※潜伏期間、症状は個人差があるためあくまでも一般的なものである。

ア　性器クラミジア感染症	イ　抗体依存性感染増強	ウ　A型肝炎	エ　月経痛
オ　尖圭コンジローマ	カ　甲状腺機能低下症	キ　日和見感染症	ク　無症状
ケ　後天性免疫不全症候群	コ　ヘルパンギーナ	サ　マイコプラズマ感染症	シ　梅毒
ス　毛ジラミ症	セ　性器ヘルペスウイルス感染症		

9 次の文章は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引　令和3年度改訂」（日本学校保健会）に示されている、発達障害のうちの広汎性発達障害、学習障害（LD）及び注意欠陥多動性障害（ADHD）に関する解説の内容である。（　①　）から（　⑫　）に当てはまる語句を下のアからニのうちから選び、記号で答えよ。　〈各1点〉

【広汎性発達障害】

広汎性発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群、特定不能の広汎性発達障害が含まれる。

自閉症とは、3歳ぐらいまでに現れ、他人との社会的関係の形成の困難さ、（　①　）の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする（　②　）発達の障害であり、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

自閉症に限らず広汎性発達障害は、対人交流や集団への適応に苦労し（対人性/社会性の障害）、こだわりや固執が強いのが特徴である。また、物音など環境の刺激に（　③　）で、予期せぬ状況に遭遇すると激しく動揺したり泣き出すなどのパニックを起こす場合がある。これらは障害に気付かれないと“身勝手”な行動と誤解され、（　④　）の対象としてのみとらえられがちである。本来、授業中や休み時間、あるいは学校行事の様子を観察すれば比較的気付きやすい障害であるが、無口で受け身の場合、（　⑤　）のみが目立ち、障害であることが見落とされ易いので注意が必要である。学習面では、得意なことと苦手なことのアンバランスがみられることが多い。

【学習障害（LD）】

学習障害（LD）とは、基本的には全般的な（　⑥　）発達に遅れはないが、（　⑦　）、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すものである。

学習障害（LD）は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、(⑥) 障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

本人が努力するにもかかわらず、文字の読み、書字、計算など一部の学習能力に限り著しい遅れがみられるのが特徴である。学習面での遅れが（　⑧　）の低下、対人面での自信のなさ、（　⑨　）状態をもたらすなどメンタルヘルスの問題を生みやすい。教科の成績に大きなアンバランスがある場合には学習障害がないかどうか調べることが大切である。

【注意欠陥多動性障害（ADHD）】

注意欠陥多動性障害（ADHD）はアメリカの調査によれば、数%の児童生徒にみられるという。（　⑩　）が特徴であり、多動、衝動性を併せ持つことが多い。忘れ物、聞き落とし、おしゃべり、けが、段取りの苦手さなどが目立ちやすい。“あわてもの”、“おっちょこちょい”など性格の問題や親のしつけの問題と誤解されやすく、大人から叱責を受けやすいため、劣等感を抱いたり、（　⑪　）な態度を身につけてしまうケースが少なくない。多動が目立たないタイプ（不注意優勢型）は（　⑫　）にやや多く、“ぼんやりした性格”として障害が見過ごされやすいため注意が必要である。注意欠陥多動性障害（ADHD）には、数種類の治療薬があるが、薬を用いた治療については医療との緊密な連携が必要である。しばしば別の障害（LDなど）を併存することがあるため、学習能力の評価を始め（②）医学的スクリーニングと合わせて行うことが重要である。

ア　他者評価	イ　自己評価	ウ　反抗的	エ　鈍麻	オ　過敏
カ　生徒指導	キ　体力的	ク　興奮	ケ　言葉	コ　男子
サ　女子	シ　保健指導	ス　過干渉	セ　抑うつ	ソ　不注意
タ　楽観的	チ　孤立	ツ　聞く	テ　知的	ト　精神
ナ　運動	ニ　走る			

解答用紙　令和６(2024)年度　解答例

養　護　教　諭（２ページのうちの１）

受験番号	

1	a	咽頭	b	食道	c	噴門
	d	幽門	e	十二指腸	f	空腸
	g	小腸	h	大腸（下行結腸）	i	直腸
2	①	サ	②	ウ	③	テ
	④	カ	⑤	ニ	⑥	セ
	⑦	ネ	⑧	オ	⑨	キ
	⑩	ケ	⑪	ソ	⑫	ト
	⑬	タ				
3	① むし歯	上下の右奥歯においてC及びCOがみられることから、 ・右側のブラッシングが不十分であると考えられるので、右側のブラッシングを特に丁寧に（角度を変えたり、歯の形、歯並びにあわせて磨く、力の入れ具合、フロスの適切な使用など）行うよう指導する。 ・適切な食事と糖質のコントロールにより、むし歯になりにくい生活習慣の確立に関する保健指導を行う。 ・Cがあり、永久歯であることから、地域の歯科医療機関への受診を勧める。　等				
	② 歯周病	「歯垢の状態」及び「歯肉の状態」が「１（定期的な観察が必要）」となっていることから、 ・本人のブラッシングが不十分であることが推測されるので、必要に応じてフロスなど適切な器具を使い、特に歯と歯ぐきの境目のブラッシングを丁寧に行うよう指導する。 ・ストレスやホルモンバランスの変化が歯周病に関連することからストレスへの適切な対処や規則正しい生活習慣について指導する。　等				
4	①	オ	②	シ	③	キ
	④	ウ	⑤	ス	⑥	エ
	⑦	ケ				
5	1	新築、改築、改修時。 机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により揮発性有機化合物の発生のおそれがあるとき。　等				
	2	・　その発生の原因を究明し、換気を励行するとともに、汚染物質の発生を低くする等適切な措置を講ずる。 ・　学校薬剤師、教育委員会等、必要に応じて関係機関へ報告・相談し、改善に向けての方策を検討する。 ・　他の教職員と情報共有し、健康被害が生じないよう必要な対策を講ずる。　等				
	3	① 500	② 1000	③ 100		
		④ 500	⑤ 疲労			

養　護　教　諭（２ページのうちの２）

受験番号	

6	1	①	ウ	②	ケ	③	オ	
		④	エ	⑤	キ	⑥	コ　④⑤⑥順不同	
	2	①	むし歯(う歯)のり患	②	喫煙			
	3	①	実践的	②	科学的	③	総合的	
		④	身近	⑤	社会生活	⑥	改善	
7	1	記号	イ					
		理由	上半身を起こした体位をとることで重力の影響で横隔膜が下がりやすくなり、呼吸しやすくなる　等					
	2	記号	エ					
		理由	足を上げることにより脳への血流を改善するため　等					
	3	記号	ウ					
		理由	膝を立てることにより腹壁（腹筋）の緊張を緩和させるため　等					
	4	記号	ア					
		理由	嘔吐した際の窒息を予防できるため／気道確保ができるため　等					
8	①	ケ		②	セ	③	オ	
	④	シ		⑤	ア	⑥	キ	
	⑦	ク						
9	①	ケ		②	ト	③	オ	
	④	カ		⑤	チ	⑥	テ	
	⑦	ツ		⑧	イ	⑨	セ	
	⑩	ソ		⑪	ウ	⑫	サ	